

1. 公益充実資金の前年度末明細

前年度末				
各資金の明細		実施時期(年度)※西暦	所要額	残高
新事務所整備資金	資産		18,200,000 円	18,200,000 円
豆類調査研究等引当資産	費用		339,750,000 円	339,750,000 円
新事務所移転準備資金	費用		14,200,000 円	14,200,000 円
			円	円

2. 公益充実資金の本年度末明細

当該事業年度開始日(西曆)	2025/4/1
---------------	----------

本年度末						
前期末残高		取崩額(合計値)	取崩額のうち資産取得分以外	積立額	今期末残高	積立限度額
372,150,000 円		136,888,915 円	135,848,570 円	37,043,000 円	272,304,085 円	272,304,085 円
各資金の明細		実施時期(年度)※西暦	所要額	取崩額(個別)	備考	
新事務所整備資金	資産		35,359,655 円	1,040,345 円		
豆類調査研究等引当資産	費用		215,720,000 円	135,773,000 円		
新事務所移転準備資金	費用		21,224,430 円	75,570 円		
			円	円		

3. 公益充実資金の明細

資産												
特定の事業又は資産取得等の名称	新事務所整備資金											
当該活動の内容	令和9年秋に予定されている新事務所への移転に伴い、間仕切工事、事務室内の造作工事等の整備を実施するため。											
計画期間(目的設定～実施)	西暦	2024	年	4	月	～	2028	年	3	月	月数 (47 月)	
所要額の算定方法	①建物付属設備(間仕切、事務室内の造作等)に23,000,000円、 ②LAN回線、造作家具等に7,000,000円、 ③敷金支出に10,000,000円とし、これらを合算した総費用40,000,000円に対し、 公益目的事業の用に供する割合91%を乗じ36,400,000円とした。											

費用												
特定の事業又は資産取得等の名称	豆類調査研究等引当資産											
当該活動の内容	豆類の生産安定や品質・生産性の向上等を図る上で必要な豆類に関する調査研究等(公1の事業)を、変動する経済・金融情勢の中においても、計画的かつ着実に実施する。											
計画期間(目的設定～実施)	西暦	2023	年	4	月	～	2027	年	3	月	月数 (47 月)	
所要額の算定方法	各年度の事業費を320百万円程度と見込み、これに対し賛助会費収入の4割(60百万円)を充当した上で、毎年度末に生ずる不足額は本資金の運用益と取崩に加えて、助成事業安定資産(約270百万円)の取崩によって賄うこととし、令和6年度から令和8年度までの3ヶ年間の必要額を511百万円(積立限度額)と見込む。											

費用												
特定の事業又は資産取得等の名称	新事務所移転準備資金											
当該活動の内容	令和9年秋に予定されている新事務所への移転に伴い、事務所の設計、消耗什器備品の購入、引越、現事務所における備品の廃棄、原状復帰等を行う。											
計画期間(目的設定～実施)	西暦	2024	年	4	月	～	2028	年	3	月	月数（ 47 月）	
所要額の算定方法	①引越費用(移転先事務所の設計費用を含む)として6,000,000円、 ②退去費用(備品廃棄並びに原状復帰費用を含む)として14,000,000円、 ③消耗什器備品の購入費用として10,000,000円を見込み、これらを合算した総費用30,000,000円に対し、公益目的事業の用に供する割合71%を乗じ21,300,000円とした。											